

# アメリカを目で見て肌で感じる

令和元年度人づくりまちづくり海外派遣事業(ホームステイプログラム)報告

大津町の中高生を対象に姉妹都市である米国ヘイスティングズ市への国際派遣事業を行い、13人の中高生たちが7月26日～8月6日間にわたって現地の人と交流しました。現地の文化や習慣などをホームステイを通じて学ぶプログラムにそれぞれの目標や思いを持ち挑みました。



記事作成者：馬場朱莉さん、式森千華さん、道協ほなみさん、東雅宗さん、池上公貴さん

## 参加者の声

～プログラムを終えて～

● 集団行動や友だち作りの大切さを学びました。これからも多くの人と交流したいと思います。

池田美心(大津北中学校1年)

● 今回の経験を生かし、将来的に世界に視野を広げてスポーツで活躍したいと思います。

池上公貴(大津北中学校1年)

● プログラムに参加して将来英語に携われるようになったら面白いだろうと思います。

東雅宗(大津北中学校3年)

● ファミリーとの交流から英語での会話の楽しさや難しさを学びました。

大津ほのか(大津北中学校3年)

● 英語の勉強を頑張り、多くの人と交流したいです。

今村雛乃(大津北中学校3年)

● 文化の違いや、コミュニケーションのとり方など学ぶことがとても多かったです。

塩井紅羽(大津高校1年)

● 文化の違いがたくさんあり、とても驚き、もっと知りたいと思いました。

道協ほなみ(熊本高校1年)

● 英語を楽しく学ぶことができたので、今後も国際交流に関わっていききたいです。

式森千華

● ホームステイに参加してアメリカと日本の生活の違い、とてもびっくりました。

馬場朱莉(熊本北高校1年)

● 楽しいホームステイでした。いろいろな体験をすることができいい経験になりました。

合志真理名(大津高校2年)

● 日本とアメリカの両方の文化の良さを感じ、自分自身の視野を広げられました。

森ゆうの(熊本高校2年)

● 自分の話す英語が現地の人に伝わったときは、すごくうれしかったです。

國武加奈子(大津高校2年)

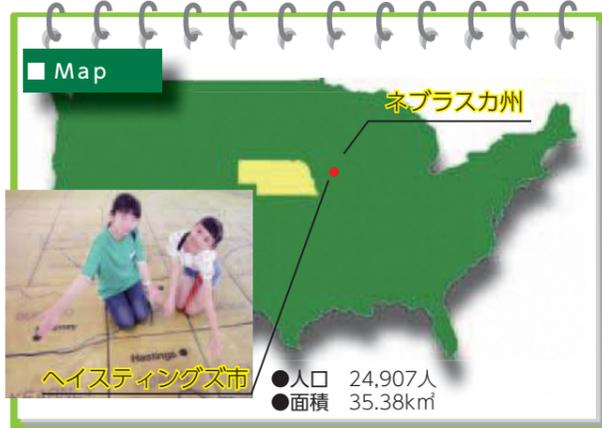
● このメンバーでよかったです。来年は日本の良さを伝えられるように頑張ります。

玉永あおい(第一高校2年)

## 大津町との絆の象徴

～平成から令和へ 新しい時代への一歩～

町とヘイスティングズ市との姉妹都市関係を結んで24年目になった今年、7月26日から8月3日までの間、「友好の日本庭園」の修復作業が行われました。その庭園は、平成7年の友好関係締結の翌年に両市町のボランティアによってヘイスティングズ大学内に造られたものです。今回は町から、当時日本庭園を造った4人でもある鎌浦誠一さんをリーダーとしたボランティアグループが現地の人たちと庭園の修復・手入れを行いました。ボランティアの皆さんは、4、5年に一度メンテナンスのために自費で渡米し、友好関係をより強固なものにするための重要な役割も果たしています。今後のさらなる活躍に期待します。



行って終わりではない

このホームステイプログラムは、国際的視野を持つまちづくりのリーダー育成を目的として行われました。帰国後、3班に分かれ、報告会に向けての映像作成をしたり、パワーポイントを使った発表資料の作成をしたり、町の広報紙「広報おおづ」への報告記事を作成、紙面構成をしました(この記事です)。今回の経験を生かし、町のまちづくりを率先して進めて、貢献していきたいです。今回プログラムに参加できたのは、町民の皆さんや、普段からお世話になっている家族のお陰です。ご協力ありがとうございました。

ヘイスティングズ大学内の日本庭園。庭の修復作業をするメンバー4人と現地の人⑤。当時の日本庭園建設メンバーの色紙がありました⑥。

